

問1 国風文化の発展を支えた、漢字を簡略化して作られた文字を何という？

1. カタカナ 2. かな文字 3. 梵字 4. 漢字

問2 平安時代、紀貫之に最初の勅撰和歌集の編纂を命じた天皇は誰？

1. 宇多天皇 2. 朱雀天皇 3. 一条天皇 4. 醍醐天皇

問3 摂関政治の全盛期に「望月の歌」を詠み、栄華を極めた人物は誰？

1. 藤原道長 2. 藤原基経 3. 藤原良房 4. 藤原頼通

問4 794年に桓武天皇が建設し、その後長きにわたって日本の中心となった新しい都を何という？

1. 長岡京 2. 平城京 3. 平安京 4. 藤原京

問5 紀貫之らが中心となって編纂した、日本で最初の勅撰和歌集を何という？

1. 枕草子 2. 古今和歌集 3. 万葉集 4. 新古今和歌集

問6 平安時代末期、武士として初めて任命された最高位の官職を何という？

1. 内大臣 2. 右大臣 3. 太政大臣 4. 左大臣

問7 清少納言が仕え、『枕草子』執筆のきっかけとなった一条天皇の後は誰？

1. 藤原彰子 2. 藤原妍子 3. 藤原威子 4. 中宮定子

問8 平安時代に発達し、日本の物語文学が発展するきっかけとなった、日本語の音を書き表す文字を何という？

1. かな文字 2. カタカナ 3. 漢字 4. ひらがな

問9 平安時代に国風文化が発展するきっかけとなった、中国へ使者を送る制度の終了を何という？

1. 壬申の乱 2. 遣唐使の廃止 3. 大化の改新 4. 承久の乱

問10 平安時代中期に『源氏物語』を執筆し、一条天皇の中宮彰子に仕えた女性作家は誰？

1. 紫式部 2. 菅原孝標女 3. 清少納言 4. 和泉式部

問11 平安時代中期、かな文字が普及し、日本の風土や生活感情が反映されるようになった、日本独自の文化を何という？

1. 天平文化 2. 鎌倉文化 3. 室町文化 4. 国風文化

問12 794年、奈良の平城京から都を現在の京都へ移し、新しい都を建設した天皇は誰？

1. 白河天皇 2. 聖武天皇 3. 桓武天皇 4. 嵯峨天皇

問13 平安時代初期に、唐から真言宗を持ち帰り、金剛峯寺を建立した僧は誰？

1. 最澄 2. 空海 3. 円仁 4. 円珍

問14 娘を天皇の后にして天皇の親戚となり、藤原氏の全盛期を築いた人物は誰？

1. 藤原道長 2. 藤原頼通 3. 藤原良房 4. 藤原基経

問15 摂関政治を抑制し、独自の権力を取り戻そうとした天皇は誰？

1. 醍醐天皇 2. 村上天皇 3. 白河天皇 4. 後三条天皇

問16 平安時代後期に藤原氏の栄華の象徴として平等院鳳凰堂を建立した、当時の政治の実権を握っていた人物は誰？

1. 藤原道長 2. 藤原基経 3. 藤原頼通 4. 藤原良房

答え合わせ・解説

問1	答え 2 かな文字	漢字の草書体を簡略化した「ひらがな」や、漢字の一部をとった「カタカナ」が普及しました。これにより、複雑な漢字を使わずに和歌や日記、物語などを自由に書けるようになり、文学表現の幅が大きく広がりました。
問2	答え 4 醍醐天皇	醍醐天皇は学問や芸術を尊重し、多くの文人を重用しました。905年、彼は紀貫之らに命じて、それまでの和歌を集めた日本初の勅撰和歌集『古今和歌集』を編纂させました。この事業は、日本の文学史において非常に重要な出来事です。
問3	答え 1 藤原道長	藤原道長はその摂関政治の頂点に立った人物です。娘の彰子を一条天皇の中宮にするなど、一族の女性を権力の中核に送り込みました。「この世をば…」で始まる望月の歌は、彼が自身の権力の絶頂期を月になぞらえて詠んだものとして非常に有名です。
問4	答え 3 平安京	平安京は、現在の京都盆地に造営されました。中国の長安にならって整然と区画整理された都市であり、中央には天皇の住む御所、その南には広大なメインストリートである朱雀大路が通っていました。遷都は794年に行われ、以後明治維新まで長きにわたって日本の政治・文化の中心地となりました。
問5	答え 2 古今和歌集	『古今和歌集』は、紀貫之らが中心となって編纂した、日本で最も古い勅撰（天皇の命令による）和歌集です。当時の洗練された貴族の生活や自然への思いが反映されており、後の文学作品に多大な影響を与えました。仮名文字を用いて書かれたことが特徴です。
問6	答え 3 太政大臣	1167年に平清盛がこの地位に就きました。武士が朝廷の最高職に就くことは当時としては異例のことであり、平氏一族が貴族社会の中核に深く入り込んだことを示しています。
問7	答え 4 中宮定子	中宮定子は非常に教養深く、気品あふれる人物として知られていました。彼女に仕えた清少納言は、その優雅な振る舞いやサロンの様子を『枕草子』の中に書き残しました。定子は、平安貴族の優雅な生活を象徴する存在の一人です。
問8	答え 1 かな文字	かな文字は、漢字の一部を省略したり、崩したりして作られた文字体系です。平安時代になると、この文字を使って自分の感情や日常を表現することが貴族社会で流行しました。これにより、漢文のような堅苦しい文章だけでなく、感情豊かな日本語による文学が発展しました。
問9	答え 2 遣唐使の廃止	遣唐使の廃止は、中国の文化に直接頼る時代から脱却する転換点となりました。これにより、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が重視されるようになりました。
問10	答え 1 紫式部	紫式部は、中宮彰子に仕える女房として宮廷で生活しながら、全54帖からなる『源氏物語』を執筆しました。この作品は、貴族社会の人間模様や恋愛、栄枯盛衰を細やかに描いた世界文学の傑作です。また、彼女が日々の生活や宮中の様子を書き留めた『紫式部日記』も、当時の歴史を知るための貴重な資料となっています。
問11	答え 4 国風文化	国風文化は、かな文字の発明によって大きく開花しました。ひらがなの普及により、和歌や日記、物語などの自由な表現が可能となり、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』といった作品が誕生しました。また、絵画では大和絵、建築では寝殿造など、日本の四季や風土に調和したスタイルが確立されました。
問12	答え 3 桓武天皇	桓武天皇は、こうした古くからの仏教勢力の強い影響を断ち切り、天皇中心の強力な政治を行うために遷都を断行しました。まず長岡京への遷都を試みましたが、工事の難航や不祥事により中止し、新たに平安京を建設しました。平安京は四神相応という風水思想を取り入れた計画的な都市として設計されました。
問13	答え 2 空海	空海は唐で密教を学び、帰国後に真言宗を開きました。密教とは、高度な修行と儀式を重んじる仏教の宗派です。彼は嵯峨天皇から高野山を下賜され、そこに金剛峯寺を建立して修行の拠点としました。多くの弟子を育て、学問の面でも大きな足跡を残しました。
問14	答え 1 藤原道長	藤原道長は、娘を次々と天皇の妃として入内させることで、天皇の外戚として揺るぎない地位を確立しました。この強力な血縁関係を武器に、政治の決定権を独占し、藤原氏による統治の最盛期を現出させました。
問15	答え 4 後三条天皇	後三条天皇は、母が藤原氏の出身ではなかったため、藤原氏の影響をあまり受けずに即位しました。彼は藤原氏の干渉を排除して政治を行うため、記録荘園整理令などの政策を打ち出し、天皇中心の政治を復活させようとしていました。この動きが、のちの院政へとつながる重要な転換点となりました。
問16	答え 3 藤原頼通	藤原頼通は、摂政・関白として約50年間政治の実権を握りました。当時、貴族たちの間では自分の財力や権力を誇示しつつ、極楽浄土に往生したいという切実な願いがありました。頼通はそれに応えるように、京都の宇治の地に壮大な平等院鳳凰堂を建立し、阿弥陀如来像を安置させました。